

学校運営協議会(全日制部会)議事録

校名	大阪府立佐野工科高等学校
(准)校長名	松野 良彦

開催日時	令和4年 6月 28日(火)15:40～17:00
開催場所	佐工会館1F
出席者(委員)	山田啓次会長上野公義委員、杉本英雄委員、山田真佐美委員、町谷雄二委員、
出席者(学校)	松野校長、山口(昌)教頭、佐々木事務部長、瀧本、飯田、西口、金丸、川村、山口(俊)、藤原、坂本、古谷(明)、奥田、森栗
傍聴者	なし
協議資料	令和4年度学校経営計画及び学校評価、令和4年度各分掌目標、令和4年度普通科・各系組織目標、令和4年度「地域産業連携重点型工科高校」としての取り組みについて
備考	

議題等(次第順)

- ・令和4年度学校経営計画及び学校評価
- ・令和4年度 各分掌・系よりの目標設定
- ・令和4年度 「地域産業連携重点型工科高校」としての取り組み(佐野工科地域コンソーシアム)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

○ICT機器、一人一台端末や、スタディーサブリの導入、メタバースなど今年度新たな取り組みがたくさんあるようだが、どのくらい活用できているのか。

【Ans】chromeブックが昨年度途中より導入され、生徒は自宅へ持ち帰っていたものを、今年4月より各教室の充電保管庫に置ける環境になった。1年生も4月半ばのHRより活用できるようになっている。ある時間帯に教室棟のフロアを横切った際、そこに並ぶクラスのすべてが従来のノートではなく、chromeブックを利用した資料配布や書き込み、調べ学習などを行っていた。校内努力で教員にもひとり一台使用できるようになったためでもある。すべての調査を行ったわけではないが、大幅に使用率が上がっていると感じる。生徒はかなり使い慣れている。

メタバースというのはアプリでダウンロードするとバーチャルな空間、例えばコンサートホールなどを自由に使えるような設定もできる。ほかにはキューブで作る建築空間のボクセルアートや、リアルな状況に似せてインテリア、服、バッグなども作ることができる。新しい価値観を取り入れ、将来を見据えた取り組みである。現在、産業創造系の3DモデリングができるCADでweb上にアップロードしたものを閲覧するなどの実習で試している。学校HP校長ブログにVRで見られる作品をいくつか入れている。

○スマホでも確認できるものなので中学生にも知識を持って興味ある子に紹介していきたい。最近ではニュースでも聞かない日がないくらい進歩してきた。小学生でもプログラムが作れる時代なので、アバター(分身)を作ってもメタバースの世界を展開することは可能である。生徒が成人してしばらく経つ頃にはこれを使いこなす人が増え、世の中の価値観がシフトしているだろう。今後、高校教育として専門性を出すのが難しくなってくるのではないという危惧もある。

○昨年度からの引き続きになるが、工科高校の志望者が減ってきている問題について議論していきたい。大学も工科高校をまわって学生を集めようにもここ1年はかなり人数が減少しているのがわかる。他府県でも機械科が定員割れを起こしている。オープンスクールでは新たな形で期待したいところだ。さらに注視するような仕掛けとしてはどのような内容を考えているのか。

【Ans】ここ数年のアンケート統計より、1年生でオープンスクールに参加した生徒がどれくらいいるか調査したところ、約半数の参加があったことがわかっている。また、だれに勧められてきたかという質問では、保護者、学校の先生、学習塾の先生に勧められてきたという回答が多くあったことから、中学生を後押ししてくれる保護者や先生により多く、本校の様子を知ってもらうことが大切であると考えている。オープンスクールのみならず、保護者ものづくり教室でも、本校の生徒がものづくりを教えるような取り組みを通して学校の魅力を伝えていきたい。

○中学校からのアドバイスをいただけますか。
 ⇒ここ(佐野工科高校)は技術面の教育や設備機材もそろえられている。その魅力を伝えるには中学生に興味を持たせる活動が必要で、例えば中学校でも科学部で企業の社員に來校頂き、エアコンの修理の方法をの実習を行って文化祭でプレゼンするなどの取り組みを行ったが、そのようなことが有効かと思う。また、昨年、長南中学校との交流で革細工の製作を高校生が教える取り組みがあったのはすごく良かったと思う。そういった機会を増やしてほしい。もう一つ、将来について知る機会があればなおさら良い。就職、あるいは大学進学卒業後に活躍している人の話を聞けるなど機会があれば先を見通した目標もでき、魅力を感じられるのではないかと思う。

○学校の良さをアピールするとしたらどのようなところがあるか。
 ⇒普通科のカリキュラムにない専門高校での学び、進路に関する取り組みなど具体例として道筋を見せてもらえるところであると思う。高校生のうちから社会に出たらこのようなことができるということを具現化して教えてもらえるところが良い。

⇒地域産業連携として昨年度は1月に泉佐野商工まつり予定していたが、残念ながらコロナ蔓延防止のために実施できなかった。今年度は9月に実施予定で参加協力をいただく。安全・安心に留意し、展示、物販を中心に交流をする中で地域の子どもが楽しく、喜んでもらえる企画になればと思う。新しい機械技術や設備を導入され、産業が変わる過渡期であるが、次の時代に対応したものづくり、バーチャルも含め、時代の波にうまく乗れるように、そして子どもの幸せを目標に今後頑張っていたきたい。

【まとめ】

○メタバースの取り組み、ICT技術の進歩した学習活動をぜひ進めていっていただきたい。
 ○定員を満たすための方策について、中学生のみならず、保護者や学習塾の先生をターゲットに行う。
 ○魅力を伝えるためのロールモデルとして、卒業生が中学校でPRを話す機会づくりなど、ぜひ実現できればと思う。

○普通科高校と違う面を社会に向けてどんどんPRしていただきたい。
 ○広報活動ではさまざまな手段で発信する必要があるが、ICT技術などまたお声掛けいただければ協力していきたい。

次回の会議日程

日時	令和4年10月末～12月の期間で予定	9月ごろに日程調整
会場	佐工会館1F	